

令和3年度 学校評価報告書(自己評価書・学校関係者評価書)

令和4年2月10日作成

中期目標	重点努力目標(評価項目)	自己評価	総合評価	達成状況と成果	関係者評価	学校関係者の意見・要望	今後の改善方策 次年度への課題 (★学校関係者評価を受けて)
魅力ある教育活動に努め、生徒の自ら学ぶ意欲と主体的な態度を育てる。	授業改善	A	A	・感染症対策で活動が制限されているが、生徒は元気に活動できている。 ・ICT機器の活用について、各教科で工夫した組みが行われている。その取り組みの達成感は生徒、職員ともに昨年に続き高く、保護者にも徐々に伝わっている。	A	・学校も生徒もタブレットを有効に活用しようとしていることは保護者へは伝わっている。 ・授業を大切にしているようだった。また、オンライン授業を拝見でき、よかった。	・わかりやすい授業と個に応じた学習指導を考える研修会を実施する。また、主体的・対話的で深い学びを意識した授業の実践を推進していく。 ★ICT機器の活用状況を保護者が確認できるような取り組みを行っていく。学校公開日を利用する。
		B		・豊かな体験活動の充実を生かした心に響く道徳教育の推進を図り、さまざまな道徳的価値観に気づき、考えを深める。		B	・命の授業などのような取り組みは重要であり、今後も継続してほしい。 ・挨拶やお礼を言うなど基本的なことを大切にしたい。
諸活動を通して、思いやりの心、自らを律する心、感謝する心、挑戦する心を育てる。	人間関係づくり	B	B	・外部講師による「命の授業」は、思いやりの心や感謝する心について深く考えることができた。継続していきたい。 ・道徳についても、内容などを工夫し、さまざまな道徳的価値観を考えることができた。	B	・ボランティア活動への取り組みはしっかりとできているので、コロナが落ち着いたら校外活動を学年通信などで保護者にもしっかりと紹介できた。 ・感染症対策をしたうえで活動については、保護者や生徒にも理解していただいている。 ・スクールカウンセラーによる活動により、定期的に話を聞いてもらうことができ、安心してきている生徒も多い。	・生徒の困ったこと、いじめ、問題行動にすばやく対応するために、情報交換やアンテナを高くしていく。 ・生徒ががんばれば、がんばるほど努力を認めてくれるような雰囲気づくり、体制づくりをしていく。 ・SNSによる嫌がらせが複雑化している。その仕組みについて研修会をもつ。 ★弱い立場や自分から苦しみを発信できない生徒に対するフォローをしていく。
	生徒活動の活性化	A	A	・学校では、係活動、委員会活動が積極的に行われている。また、本年度はボランティア活動を募集し、校内で活動をしてきた。これらの活動を学年通信などで保護者にもしっかりと紹介できた。	A	・ボランティア活動への取り組みはしっかりとできているので、コロナが落ち着いたら校外活動を学年通信などで保護者にもしっかりと紹介できた。	・生徒の困ったこと、いじめ、問題行動にすばやく対応するために、情報交換やアンテナを高くしていく。 ・生徒ががんばれば、がんばるほど努力を認めてくれるような雰囲気づくり、体制づくりをしていく。 ・SNSによる嫌がらせが複雑化している。その仕組みについて研修会をもつ。 ★弱い立場や自分から苦しみを発信できない生徒に対するフォローをしていく。
		B		・感染症対策をしたうえで活動については、保護者や生徒にも理解していただいている。 ・スクールカウンセラーによる活動により、定期的に話を聞いてもらうことができ、安心してきている生徒も多い。		・感染症対策をしたうえで、できることを精いっぱい楽しんでいる。先生と生徒のアイデアには本当に感心することが多い。	
A	・感染症対策をしたうえで活動については、保護者や生徒にも理解していただいている。 ・スクールカウンセラーによる活動により、定期的に話を聞いてもらうことができ、安心してきている生徒も多い。	・感染症対策をしたうえで、できることを精いっぱい楽しんでいる。先生と生徒のアイデアには本当に感心することが多い。					
生徒一人一人の持ち味を生かし、自らを高めるとともに社会集団に貢献しようとする意欲と態度を育成する。	多忙化解消に関わる業務改善	B	B	・各行事は、昨年度と一昨年度を比べながら、計画、実行をすることができた。その結果、多少なりとも担当者の負担を軽減することができた。 ・在校時間月80時間超の減少、45時間以内増(昨年比)から意識の高まり、業務改善が進んでいる。	B	・多忙化の問題は理解できるので、生徒のために、一緒にいる時間をつくってほしい。 ・部活動ができない時期が長いようであることは辛い生徒も多いはず。	・コロナウイルス感染症対策を中心に行事などの計画をすすめる。そのために、何度も計画を変更することのなくしていきたい。 ★令和4年度より部活動指導体制が変更されることをきっかけに、部活動の指導内容の充実を図る。
		B	B	・生徒や職員は与えられたタブレットを活用し、家庭でオンライン授業を受けることができるようになった。また、家庭のWi-Fi環境が99%整っていることも助かっている。 ・職員の持ち味をいかした教育活動の展開を目標としていることは概ね保護者や生徒には伝わっているように思われる。	B	・全てオンライン授業では困る。先生の持ち味をいかすことができるのは対面授業である。 ・コロナ禍で生徒の学ぶ場が減っていると聞いた。きちんと教えるべきことは教えてほしい。	・タブレットの有効活用をよりいっそう進めていけるような研修の場や情報交換の場を設ける。また、各教科において、GIGAスクール構想の実現に向けた授業研究会を行う。 ★授業において、地域の人材などにオンラインで遠隔参加してもらおう。
教育諸条件の整備と改善を図り、安心して学べる教育環境づくりに努める。	教師の力量向上と連携・協力	A	B	・現職研修を計画的に進め、職員としての専門性を高める。 ・職員の持ち味を生かし、連携・協力体制を強めた組織的な教育活動を展開する。	B	・全てオンライン授業では困る。先生の持ち味をいかすことができるのは対面授業である。 ・コロナ禍で生徒の学ぶ場が減っていると聞いた。きちんと教えるべきことは教えてほしい。	・タブレッツの有効活用をよりいっそう進めていけるような研修の場や情報交換の場を設ける。また、各教科において、GIGAスクール構想の実現に向けた授業研究会を行う。 ★授業において、地域の人材などにオンラインで遠隔参加してもらおう。
校教育の創造に努める。	保護者・地域との協力体制強化	A		A		・定期的な学年学級通信で学校の様子を伝えたり、依頼事項などを載せたりできた。 ・本年度も地域と協力して活動する場面は少なかった。しかし、徐々に対策を講じて実施できることが増えていった。 ・HPによる学校紹介を保護者地域に知ってもらいたい。	A
		B	・定期的な学年学級通信で学校の様子を伝えたり、依頼事項などを載せたりできた。 ・本年度も地域と協力して活動する場面は少なかった。しかし、徐々に対策を講じて実施できることが増えていった。 ・HPによる学校紹介を保護者地域に知ってもらいたい。		・北部中のHPによる情報発信はしっかりとできている。QRコードを校区に広めたらどうか。 ・資源回収を通して、地域、生徒、学校などの交流ができていく。		

【自己評価 A:十分に達成されている B:概ね達成されている C:あまり達成されていない D:ほとんど達成されていない】

【総合評価:自己評価をもとに上記のA・B・C・Dで評価】

【関係者評価 A:適切である B:概ね適切である C:あまり適切ではない D:適切とは言えない】